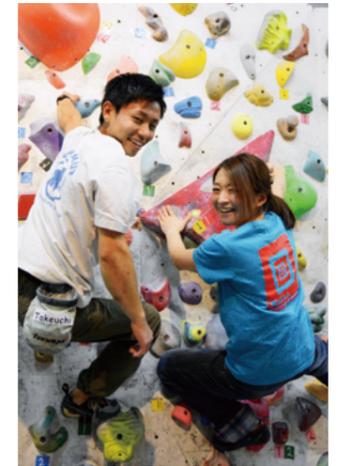


Ikiiki  
Maebashi  
Jin



スポーツクライミング選手  
北村 啓祐さん・24歳  
北村 咲子さん・24歳  
荒牧町二丁目

## 競技の魅力を伝えていきたい

東京五輪の追加種目として提案されているスポーツクライミング。注目の競技で、国内上位の成績をそろって収めるのが北村さん夫婦だ。

2人は別の高校出身だが、偶然にも互いに部活動で登山を始めた。その練習の一環でスポーツクライミングに出合い、その魅力にはまった。その後、2人が出会うきっかけになった。

競技の魅力を聞くと、「何回もチャレンジして、ゴールまで到達できたときの達成感です」と啓祐さん。咲子さんも続く。

「こつをつかむと腕の力だけではなく全身を使えるようになります。今まで登れなかったコ

ースを登れるようになります。それがすごく楽しい」

今の2人の目標は6月に開催されるジャパンカップの表彰台。練習のたび見つかる課題を一つずつクリアし、目標に向け努力を重ねる。指導者でもある咲子さんは、競技の普及にも努めている。

「スポーツクライミングは難しいと思われがちですが、実は年齢や体力に関係なく気軽に始められるスポーツです。そのことを知ってもらいもっと多くの人に楽しんでもらいたい」

互いに切磋琢磨してきた2人。今後の活躍をとおして、競技の魅力が広く伝わっていきましょう。



## マイタクでお出掛け

1月23日から、でまんど相乗りタクシー「マイタク」の運行が開始。同日に総合福祉会館で出発式が行われました。事前登録すると運賃の支援が受けられるマイタクの登録者は、1月18日時点で7,117人に。新しい交通手段として高齢者や障害者などに外出の機会を提供します。



## 給食で地域の伝統を知る

1月27日に宮城小学校と中学校、幼稚園に、献穀粟を使用した給食を提供しました。この粟は宮城地区で栽培され、昭和25年から毎年皇室へ納めているもの。動画や放送で献穀粟が紹介され、児童生徒たちは粟ご飯などを食べながら地域の伝統行事を学びました。



## 郷土の舞への理解深める

城南支所で1月23日に二之宮式三番叟・新能まつりのプレ公演を開催しました。県内で唯一の人が舞う式三番と、能を組み合わせた全国的にも珍しい催しの事前公演。5月8日(日)に二宮赤城神社で行われる本番を前に、参加者は伝統芸能への理解を深めていました。



焼きたての揚げ物が、そのまま焼きたての揚げ物です。

## 一時間で快適生活

ちょっとした工夫で日常生活は快適になります。この連載では消費生活啓発員が日常生活に役立つ情報をお知らせ。最終回は、「知って便利な生活の知恵」についてです。



□身近な生活を見直すチャンス  
市消費生活啓発員の会では、月2回の定例会や消費者啓発、講習会、情報収集・学習会を開催。学びながら楽しく活動していきつかけに、一緒に活動してみませんか。

□食器洗いの困り事を解決  
洗って重なり取れにくくなったコップ。外側にぬるま湯、内側に冷たい水を入れると離れやすくなります。

□再利用で台所周りを美しく  
不用品は適当な大きさに切り、汚れたフライパンや鍋などを拭くのに使用。拭いてから洗えば洗剤と水の節約になります。また、キッチン排水溝には、軽く丸めたアルミホイルを入れ、ぬめり防止に。

□リサイクルで賢くおしゃれに  
菓子袋の石炭乾燥剤は靴や靴箱の中に入れて再利用を。着なくなったセーターは、裾を切って端を縫い付けるとマフラー(スヌード)へとすてきによみがえります。

問い合わせは 消費生活啓発員の会  
027-230-1755